

～読んでみない？こんな本～

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく 富山房



「あるばん、マックスはおおかみのぬいぐるみをきると、いたずらをはじめて
おおあばれ…」

お母さんに怒られ、寝室に放り込まれたマックス。やがて寝室に波が打ち寄せ、
マックスの船を運んできます。マックスは船に乗り込んで1年と1日航海し、
着いたところは、かいじゅうたちのいるところ…。

映画化もされたこの絵本は、アメリカで1963年に出版され、「こんな本を子
どもたちに見せていいのか」と当時の図書館員や保護者から批判の声が上がっ
たといいます。それでもこの本はコールデコット賞を受賞し、世界中の子ども
たちから好かれ、今でも人気があります。センダックの作品の多くがファンタ
ジーの世界に軽やかに入っていけるように、この絵本も普段子どもたちが体験
している現実から、これまた普段想像している別世界に行き、現実ではできな
いこと（けれども普段の遊びの世界ではしていること）を思う存分やりのけて、
やさしい誰かさん（お母さん）の元へ帰ってくるおはなしです。いつの時代で
も変わらずに子どもたちが求めている様々なことを、子どもたちにわかるよう
に表現しているからこそ、この絵本は人気があるのではないのでしょうか。

詳しくセンダックを知りたい方は、「センダックの絵本論（岩波書店）」「センダ
ックの世界（岩波書店）」も参考になるとと思います。